



アスファルト防水

溶解したアスファルトを用いて、2～4枚のルーフィング類を積層して防水層をつくる工法。



トーチ工法

トーチバーナー等を用いて、厚さ3.0～4.0 mm程度の改質アスファルトルーフィングを直接あぶり、改質アスファルトを溶解させて、張り付け防水層をつくる工法。



合成ゴムシート防水工法①

—EPDMブチルゴム工法—

合成ゴムシートを、接着剤を用いて下地に張り付け防水層をつくる工法。



合成ゴムシート防水工法②

—塩ビ機械固定工法—

固定器具を用いて、塩ビシートを下地に固定し、防水層をつくる工法。



塗膜防水工法

1～2成分形の液状塗膜防水材料をそのまま下地に塗布したり、補強材、緩衝材などを張り付けた上に塗布または吹き付けて防水層をつくる工法。



シングル防水工法

厚手のアスファルトフェルトにアスファルトを塗布し、着色砂粒をつけて所定の形状に裁断してあるものを張り付けて防水層とする工法。
主として勾配屋根に用いる。